



火起こし道具 R 9

サイズ 高さ=580 mm x 横幅=450 mm

企画テーマを『温故知新』として商品化しました。

古きを学び新しきを創る、古来からの道具や遊びの原点を知り、創作の中で自然に学び楽しみ、子供達には創造性豊かな心が育まれることを願い商品企画をしました。



火起こし道具・完成イメージ

□ 商品特徴

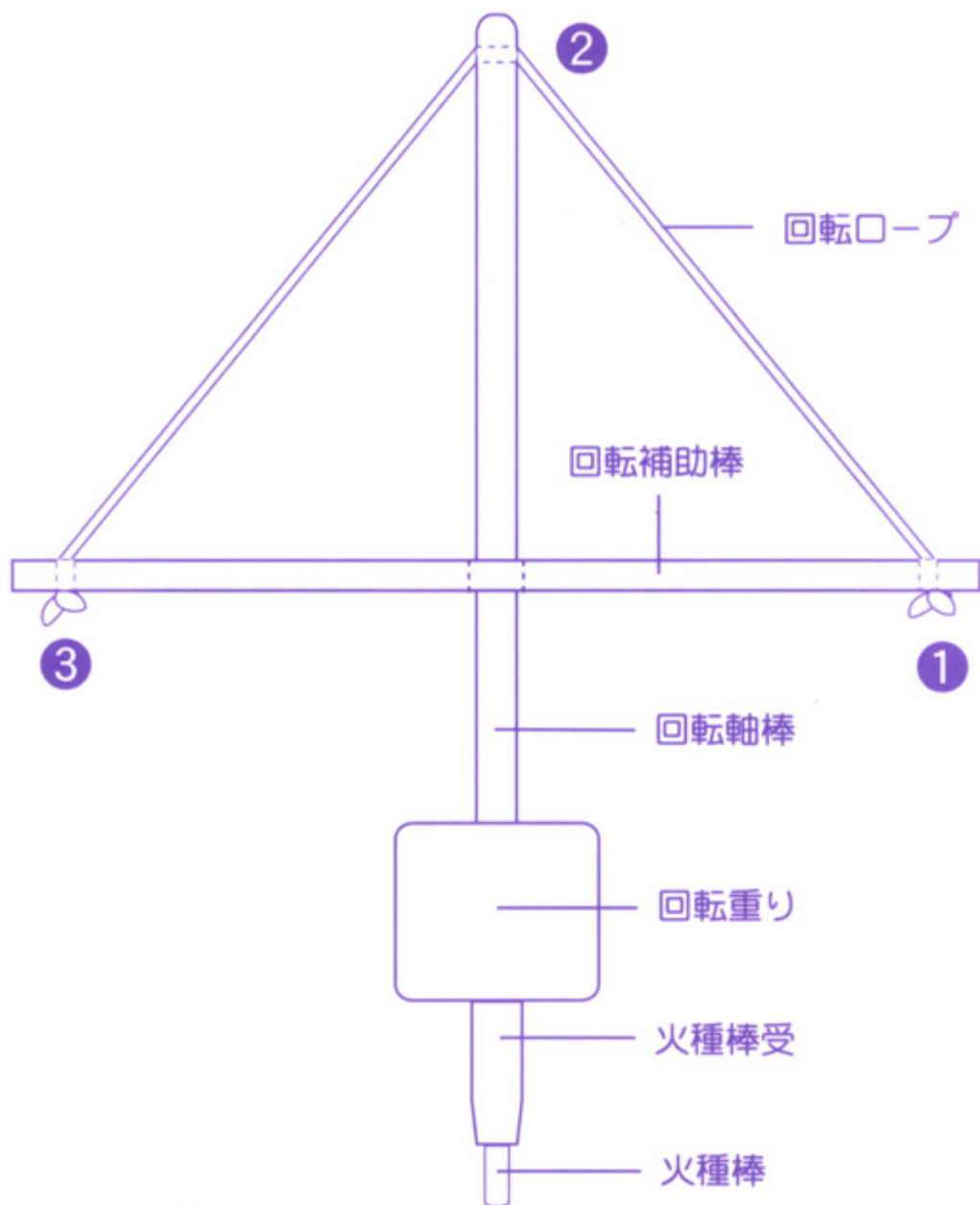
静岡県得天龍ヒノキや杉の間伐材を活用した「火起こし道具」です。

本体は「火起こし」を繰り返した後、ひきり板・火種棒(5本セット)及びおがくずは、消耗パーツとして補充することができます。

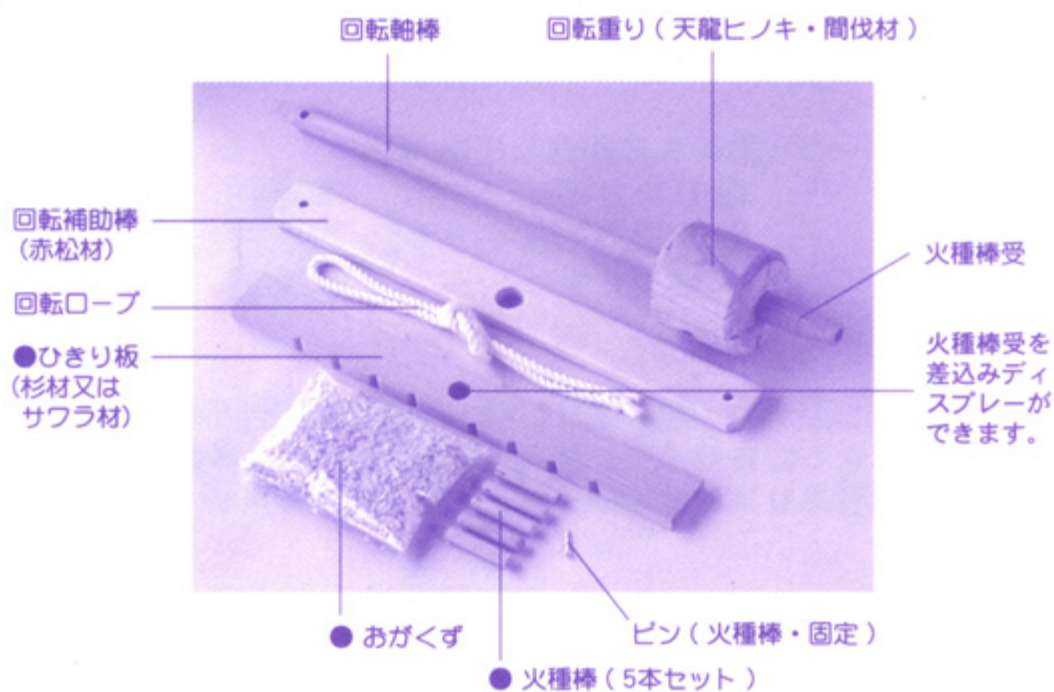
我々の祖先は木の摩擦熱で火種を作り、枯れ草や枯れ葉等に火種を移しながら炎を起こしていました。現代では、ライターやマッチのように便利な道具に囲まれて生活していますが「火起こし道具」で、火を創る原点を実際に体験することができます。

※ 火お越し道具の「回転重り」は、天然木の間伐材を活用しています。乾燥とともに自然にワレが入る芯割(シンワレ)が生じますが、機能的には影響ありませんので、安心してご使用下さい。





構成パーツ



火起こし道具の組立手順

1. 回転軸棒に回転補助棒を通します。
2. 回転ロープを ① ② ③ の順序で通します。
次に ① ③ の端を結びます。
3. 火種棒受に火種棒を差し込みます。これで組立が完了です。

火起こし道具の操作方法

● ご注意

周辺に燃えやすい物が無く、風の少ない場所で実施して下さい。
バケツに水を入れ消火の用意もして、必ず大人同伴で実施して下さい。

● 「火種」を起こす

ひきり板を足で踏み固定し、火種棒受に火種棒を入れ、回転補助棒を両手で持ち1回転（ロープを巻き）させ、ゆっくり下げると回転軸棒が回転し回転重りで逆回転、繰り返し（巻き付き）回転軸棒は左右に回転運動をします。



回転軸棒に回転ロープを巻き付け、ゆっくり下げると回転軸棒は回転重りの作用によって、逆回転します。

この動作を続けることで回転軸棒が左右回転を繰り返します。

この上下運動を続け少しずつ力を入れ、速く回すことで摩擦熱で「火種」が起こり始め、やがて木の「焦げる匂い」と共に「煙り」が生じてきます。
しばらく動作を続けると、木の黒い粉の中に「火種」が生成されます。

● 「火種」を、慎重におがくず（同梱）に移します。ゆっくりと風を送り続けるとやがて、「炎」に変化します。

● 火の起こる現象をヤケドなどに充分注意し、操作体験・観察をして下さい。また、祖先が工夫し「火」を起こし、生活をしていたことを想像して下さい。